

スティロニキア属

Stylonychia

解説

平べったく、ぞうりのような形をしています。おしりに3本の長いとげ状の剛毛ごうもうをもっています。腹側(下側)の繊毛せんもうのいくつかがくっついて剛毛をつくっています。剛毛はまるで足のようで、それを動かして水草の上などをはいまわります。背中側にはあまり繊毛が生えていません。

生息場所：湖、ため池、川、田んぼなどで水草、コケ、落ち葉などの間をはいまわっています。

個体の大きさ
100~300μm

スティロニキア属の一種
Stylonychia sp.



オキシトリカ属

Oxytricha

解説

体の周りにそって繊毛せんもうの列があり、それが最後部まで連続的につながっています。このなかまは似たような種類が多く、分類が困難です。

生息場所：湖、ため池、川、田んぼなどで水草、コケ、落ち葉などの間をはいまわっています。

個体の大きさ
50~250μm

オキシトリカ属の一種
Oxytricha sp.



ストケシア属

Stokesia

解説

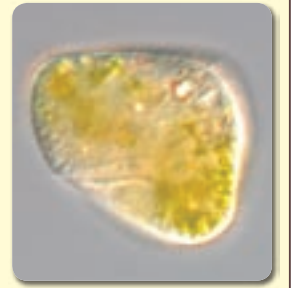
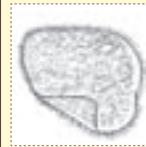
空飛ぶ円盤えんぱんのような格好かっこうをしていて、くるくる回りながら泳ぎます。口は円盤の下側にあります。共生藻類きょうせいそうるいをもっていて緑色をしています。1属1種です。

生息場所：湖やため池などにすんでいます。

ストケシア ベルナリス

Stokesia vernalis

個体の大きさ
100~160μm



スピロストーム属

Spirostomum

解説

細長くまるでミミズかセンチュウのような形をしています。体は伸びたり縮んだりします。大きな収縮胞しゆくしゆくほうが体の後部にあります。

生息場所：ヨシ帯たいの奥や池の底など酸素の少ないところを好みます。個体の大きさ 200~2000μm

スピロストーム属の一種
Spirostomum sp.



(6) その他の形のなかま

解説

水中に浮いている繊毛虫せんもうちゅうには、この図鑑にとり上げた以外にも、まだまだ多くの種類がありますが、それらは、1つの特徴では言い表すことができません。ここでは、特徴的な形をした4属を「その他の形」としてまとめました。

この図鑑にのせた属

ストケシア属、スピロストーム属、スパシディウム属、ブルサリア属

「その他の形のなかま」の見分け方

えんぱんがた 円盤形 口は円盤の下側にある緑色	ほろしよう 細長い棒状 後ろに1個の大きな収縮胞	体は平たく、 先端の口がななめに 切れたように見える	大きなつぼのような形で、 口が大きく深く切れ込む
ストケシア属	スピロストーム属	スパシディウム属	ブルサリア属

スパシディウム属

Spathidium

解説

口は先端にあり、ななめに切れていて、後部は丸い形をしています。体は曲がりやすく、小型の繊毛虫せんもうちゅうなどをエサにしています。

生息場所：湖のヨシ帯やため池などにすんでいます。個体の大きさ 120~250μm

スパシディウム属の一種

Spathidium sp.



ブルサリア属

Bursaria

解説

つぼ形の大きな繊毛虫で、口のところから後方に向かったの切れ込みがあります。ほかの原生動物をエサにしています。

生息場所：湖、ため池などにすんでいます。個体の大きさ 500~1500μm

ブルサリア属の一種

Bursaria sp.

